

三代目 古代住居 完成

2016年12月17日から始まった古代住居の新築工事。のべ190名にのぼる地域の方々や保護者の方々のご協力により、2017年3月11日に完成しました。

竪穴式住居(3代目古代住居)について

竹田市立菅生小学校

1 完成 平成29(2017)年3月11日

2 あらまし

30年間学校や地域に愛されてきた2代目住居だが、平成28(2016)年4月の熊本・大分地震により、倒壊の可能性が高くなり、建て替えを決定。平成29(2017)年1月に着工。規模は先代と同程度だが、壁の厚みを増し、内部は若干縮小したものとなる。

茅は半分以上再利用。追加材料(茅250束、杉柱30本、シュロ縄、番線等多数)。作業には、全校児童・教職員の他多数の保護者・地域の方々に参加。作業日数8日、のべ参加人数230名。

3 菅生小学校古代住居の歴史

<初代住居> 1981~1986

昭和56(1981)年8月に菅生文化財愛護少年団が結成され、当時の保護者・教職員が菅生地区および学校のシンボルとして建設に着工し、翌年2月に完成。2年間は学校内外を問わず、広く活用されていたが、後半の3年間は損傷が激しく、活用は困難な状態にあった。

<2代目住居> 1986~2016

「古代住居の再建」というスローガンのもと、昭和61(1986)年12月に完成。全校児童一斉での活用を可能にするため、初代のものより約2倍の規模に拡張する。※作業の詳細は旧看板を参照のこと
児童による毎月2回の火入れや、保護者・地域のご支援により5年ごとに茅の葺き替えや修復を実施し、保存に努めてきた。



左；三代目古代住居

右；二代目古代住居

